

地域の産業・雇用創造チャート ー統計で見る稼ぐ力と雇用カー

総務省は、これまでに国勢調査及び経済センサスといった統計調査を実施し、集計結果を広く提供してきたところです。

今般、政府を挙げた地方創生への取組に資するものとして、これらの公表値を加工・グラフ化し、「地域の産業・雇用創造チャート」として提供します。

1 概要

総務省は、これまでに国勢調査及び経済センサスといった全数調査を実施し、市町村単位の集計結果を広く提供してきたところです。

今般、政府を挙げた地方創生への取組が進められる中で、政府全体のオープンデータ推進のトップランナーである総務省統計局は、経済理論に沿って、既に公表しているこれらのデータ※を用いて、加工・グラフ化し、市町村ごとに「地域の産業・雇用創造チャート」として提供することとしました。

公表済みのデータをより使いやすい形に加工してオープンデータ化することにより、大学や民間企業、地方公共団体を含めた幅広い方々に御利用いただけます。

※ 平成 21 年経済センサス - 基礎調査、平成 24 年経済センサス - 活動調査及び平成 22 年国勢調査の市町村ごとの集計結果を、昨年 12 月 26 日に公表した平成 23 年（2011 年）産業連関表（速報）結果を活用して計算。

2 公表資料

内容は、以下、統計局ホームページを御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/info/kouhou/chiiiki/index.htm>

（別添資料）

参考 地域の産業・雇用創造チャートの概要

（連絡先）
統計局統計情報システム課統計情報企画室
担当：永井補佐 高橋係長
直通 03-5273-1023
FAX 03-3204-9361

【参考】地域の産業・雇用創造チャートの概要

～統計で見る稼ぐ力と雇用力～

統計データを活用し、経済理論に基づき地域経済を分析（オープンデータの活用）
「経済分析に資するデータ」の提供にとどまらず、「統計データを活用した経済分析結果」を提供
全市町村分の「地域の産業・雇用創造チャート」を提供し、その現状把握を強力に後押し

公表済みの統計データ

- 平成21年経済センサス - 基礎調査
- 平成24年経済センサス - 活動調査 等

(オープンデータの活用)

経済理論

- 修正特化係数(※)が1より大きい産業が地域の外から稼いでいる産業（基盤産業）の目安
- 基盤産業の労働者数の維持が人口維持の鍵

※ 修正特化係数とは（具体例）

奈良県の繊維工業従事者比率（約1.7%）を日本全体の繊維工業従事者比率（約0.7%）で割った値（約2.5）が奈良県の繊維工業の特化係数。修正特化係数はそれを輸出入額で調整したもの

地域経済分析システム（まち・ひと・しごと創生本部）

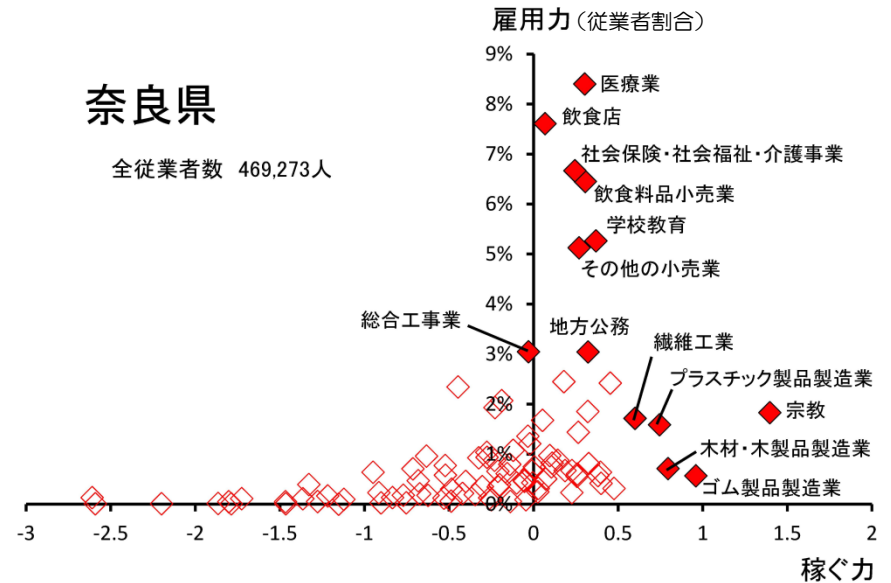
地域の企業の詳細なデータを分析して提供

相互補完

地域の産業・雇用創造チャート

奈良県

全従業者数 469,273人



※ 「稼ぐ力」とは、修正特化係数を対数変換したもの。修正特化係数が1以上の産業は0以上、1未満の産業は負になる。

地域の産業・雇用創造チャート（総務省）

オープンデータの活用により地域産業構造を可視化

地方におけるデータ分析から地方創生へ